

特集

# ぱれっとが創る

## 未来とその現在地③

～ぱれっとの今後を考える勉強会～

つうしん特集ではぱれっとの未来につなげようとシリーズでお伝えしています。42年間の歴史を振り返り組織への信頼はどうか、ぱれっとのこれからについてみなさんと考える機会を持ちます。

この1年の間、ぱれっとの中では色々なことがありました。昨年の総会では会員の方から職員の労働時間や処遇について、また入居者の方への支援の在り方など、法的な観点を含めてのご指摘がありました。この点については専門家に入ってもらい、職員やアルバイトの方も含めたヒアリングを通して調査をし、結果的には指摘された事実自体は確認されなかったのですが、職員の入れ替わりやスタッフ人員不足は否めず、入居者の不安につながるケースが見られました。また、職員の働き方や処遇については、社会保険労務士や労働基準監督署に相談・指導を仰ぎ、法律に則った修正を行ってきました。

### ●ぱれっと勉強会と組織変遷

今までも私たちは、職員や理事・ボランティア・父母と共に勉強会を幾度となく重ね対話を通し、その時代のニーズや課題を共有しぱれっとの方向性を打ち出してきました。

- ・1985年：おかし屋ぱれっと開所時、東京都育成会の傘下に入るかどうか検討
- ・1996年：たまり場ぱれっと、学生ボランティア不足のため一時休止
- ・1998年：スリランカにクッキー工場を！

- ・2001年：NPO法人取得か社会福祉法人化か専門家を呼んでの勉強会
- ・2003年：NPO化後理念確立のための勉強会
- ・2009年：いこっと立ち上げプロジェクト
- ・2015年：ぱれっとビル建設に夢をのせて
- ・2020年：ぱれっとスローガンづくり

### ●安心して委ねられる組織づくりに向けて

「スローガン」は、その組織に所属する者がどのようにパフォーマンスを発揮するか、目標のようなものですが、ある病院のスローガンに心を動かされました。それは、「患者さんに安心感を！」です。病院は色々な人に支えられています。患者に直接接しない人もいます。そういった人たちも含めて、「一人ひとりが患者さんに安心感を持ってもらうにはどう動けばいいか」を考えさせる素敵なスローガンです。

ぱれっとに所属する人たちにどうしたら安心感を持ってもらえるか、みなさんと対話を通しながら、組織への信頼回復へとつながれたらと考えています。

4月26日(土)午後、会員の皆様との対話を介し、安心して関わり続けられる組織づくりについて話し合っていきたいと思います。後日ご案内をお送りいたします。

(理事長 相馬 宏昭)